

「水の確保」

J

- ★ 避難所では飲料水のほか、衛生的な避難所生活（手洗い、うがいなど）のために生活用水を確保することが必要です。
- ★ 以下の手順で、水道使用状況の確認と水の確保を行います。（シートJは1枚です。）
また、市内で震度6弱以上の地震が発生した場合は、災害時給水栓による給水所の開設を行ってください。
（災害時給水栓の設置箇所は、「地域防災計画 共通附属資料」を参照してください。）

水の確保に関すること ～避難所を開設したら以下の手順に従い水の確保を行ってください～

＜水の確保のチェック項目＞ ＊あてはまる方にチェック

建物の蛇口から水が出ますか。

出る

チェック

☐

出ない

☐

受水槽に蛇口が設置されていて、水が出ますか。

出る

チェック

☐

設置されていない

☐

市内で震度6弱以上の地震が発生しましたか

はい

チェック

☐

いいえ

☐

災害時給水栓が整備されている避難所においては仮設給水蛇口を取付け、給水所を開設して水を確保します。 ※裏面参照

整備されていない
水が出ない
☐

水が出る

☐

避難所の利用可能な蛇口から
水を確保してください。

水道の使用状況、災害時給水栓による給水所の開設状況を区の災害対策本部に報告します。

災害時給水栓



チェック

☐

水の確保ができない場合は、区の災害対策本部を通じて、水道局に応急給水を要請します。

様式1
様式集P 1

様式1
様式集P 1

- ＊ 水道局では、災害の状況から必要に応じて、非常用飲料水貯水槽や仮設水槽などを利用した給水所を開設します。仮設水槽には給水車が巡回給水を行います。
- ＊ 飲料水は、備蓄の活用や物資の要請によっても確保できます。（シートH）

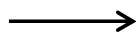
シートJは1枚で終了です。チェックした項目を、避難所閉鎖まで継続してください。

災害時給水施設を設置している避難所について

災害時給水栓、非常用飲料水貯水槽の設置箇所については、
「地域防災計画 共通附属資料」の災害時給水施設の頁を参照してください。

災害時給水栓の開設基準

市内で震度6弱以上の地震が発生し
指定避難所を開設した場合



必ず 災害時給水栓を開設

上記以外により指定避難所を開設した場合



必要に応じて災害時給水栓を開設

- * 災害時給水栓を設置している指定避難所の防災備蓄倉庫には、給水所の開設に必要な災害時給水栓セット（青色バッグに給水ホース、仮設給水蛇口、開閉ハンドル等を収納）が保管してあります。
- * 給水所には、避難所利用者以外の方も給水を受けに来ますので、給水所の運営も協力して行いましょう。
- * 給水を受ける場合には容器が必要です。コミュニティ防災センター（防災資機材倉庫を併設した市民センター等）に備蓄された「給水用ポリタンク、給水用ポリ袋」等も活用しましょう。
- * ペットボトルには数に限りがありますので、災害時給水栓を活用した給水所で飲料水が確保できる場合は、災害時給水栓の水を利用しましょう。

- * 断水が広範囲に及んでいる状況では、応急給水対応に時間がかかる場合がありますので、節水の工夫をしましょう。
 - ⇒ ペットボトルの水は、飲料用としての使用を優先しましょう。
 - ⇒ 手洗い用水等は、区災害対策本部に浄水機の使用を相談しましょう。
（各区役所、総合支所に1機ずつの配置ですので、対応が困難な場合があります。）
 - ⇒ トイレ用の水は、プールや河川から確保しましょう。

＜水の種別と使用方法＞

使用方法 種別	飲料 調理	手洗い 洗顔 食器洗い 歯磨き	風呂 洗濯	トイレ
飲料水（ペットボトル）	◎	○	×	×
避難所施設の蛇口・受水槽	◎	◎	○	○
災害時給水栓 非常用飲料水貯水槽 仮設水槽	◎	◎	○	○
浄水機	○	◎	○	○
プール・河川	×	×	×	◎